

自主上映会 in KOBE 2014.02.01(土)  
 『シェーナウの想い』  
 ～自然エネルギー社会を子どもたちに～  
 2008年ドイツ製作のドキュメンタリー映画



← シェーナウ電力会社を設立したみなさん

この映画からわたしたちが学ぶものは?  
 今自分に出来ることから行動を起こすこと。  
 上映会・自家発電所設立・再生エネルギー  
 を学ぶ会…etc.  
 こどもたちのいのちを守るためにぜひ  
 あなたの勇気と行動を

原発の神話は崩れた!

- 1986年 4月26日 チェルノブイリ 原発事故
- 1994年 1月16日 脱原発からシェーナウ市民グループは電力会社 EWS を設立
- 1995年 11月20日 市議会はEWSの電力供給を認可
- 1998年 ドイツ、電力市場の完全自由化  
—そして—
- 2011年 3月11日 福島第一原子力発電所 東日本大震災事故

原発保有ゼロをめざしたシェーナウの市民たち

— 映画『シェーナウの想い』のあらすじ —

ドイツ南西部、黒い森の中にある人口2500人の小さな美しい町シェーナウ市の住民グループが、チェルノブイリの原発事故をきっかけに子どもたちのいのちを放射能から守りたい、その一心から早速活動を始める。目標は一つ。自然エネルギー社会を子供達に。やがて幸せに生きる環境を次世代が引き継いでくれるように。ついに彼らはドイツ史上初の「市民の市民による市民のため」の電力供給会社を設立した。その過程を記録したこれは感動のドキュメンタリーだ。映画は福島原発事故を経験したわたしたちに原発ゼロの道を示している…。



※教会の屋根は町で一番の発電所。  
 シェーナウの象徴でもある太陽光パネルを屋根につけたプロテスタント教会を中心としたシェーナウの屋根

製作：ドイツ映画(2008年)ドキュメンタリー  
 上映時間：60分  
 監督：フランク・ディーチェ  
 ヴェルナー・キーファー

日本語翻訳：及川齊志(2012年)  
 字幕編集：大和拓  
 日本語版作成協力：ウルズラ・スラーデック

場所：神戸学生青年センター  
 〒657-0064 兵庫県神戸市灘区山田町3丁目 1-1  
 T/078-851-2760  
 日時：2014年2月1日(土)  
 開場 1:30  
 上映 2:00 ~ 3:00 フリートーク 5:00終了  
 会場費：500円 \*手話通訳付き聴覚しょうがいの方は無料



共催：わたしの夢を創るスター・ヒルズ  
 神戸学生青年センター(お問い合わせ T/078-851-2760)